

苫小牧市A I チャットボットシステム導入及び運用・保守業務 委託業者選定評価基準

1 趣旨

この基準は、苫小牧市A I チャットボットシステム導入及び運用・保守業務委託に係る参加業者からの提案のうち、最も優秀な提案を行ったと認められる者を選定するために必要な事項を定めるものである。

2 評価方法

一次評価及び二次評価を実施する。

なお、提案者が3者以下の場合は二次評価のみ実施する。

(1) 一次評価（書類審査）の実施

提出された企画提案書等の内容により、選定委員会において一次評価（書類審査）を実施する。一次評価（書類審査）は、本書「3 評価基準」の各項目に基づき採点するものとし、二次評価（プレゼンテーション及びヒアリング）に当該評価結果を引き継がないものとする。

なお、提案者が4者以上あった場合には、一次評価の結果に基づき、二次評価（プレゼンテーション及びヒアリング）を実施する3者を選定することができるものとする。この場合、一次評価（書類審査）の実施後、速やかに全ての提案者に対し、評価結果を通知する。

(2) 二次評価（プレゼンテーション及びヒアリング）の実施

(ア) 審査

プレゼンテーション及びヒアリング等による審査

(イ) 契約候補者の選定方法

公募型プロポーザル方式

(ウ) 順位の決定方法（合計点数が同点となった場合の取扱い）

最も評価点数の高い者が2者以上あるときは、企画提案時に出された参考見積価格が安価な者を契約候補として選定する。

(エ) 参加業者が1者の場合の取扱い

企画提案書及びヒアリングでの提案により選定する。

3 評価基準

企画提案書及びプレゼンテーション等により、次の審査項目について、審査及び評価を行う。

(1) 業務実績【20点】

- ・会社概要や業務実績から、確実に本業務を遂行できる能力を有しているか
- ・同様の業務について実績はあるか

(2) システム機能要件【120点】

- ・システムのレイアウトは利用者にとって見やすい、使いやすい画面となっているか
- ・職員が操作、管理しやすいシステムか
- ・AIにより、入力された問合せの文脈や意味をとらえ、的確な回答を導くことができるか
- ・外国語対応が可能なシステムか
- ・仕様書で定める要件を満たしているか(要件の一部または全部を満たしていない場合、それを補う対応策はあるか)

(3) データ作成、運用管理及び保守【110点】

- ・QAの対応分野は十分であり、データの追加・編集に制限はないか
- ・ログや統計など、システムの運用状況は容易に把握できるか
- ・QAデータやログ等の各種データは、システムから容易にメンテナンスできるか。
- ・AIチャットボットの回答精度を高めるための、具体的な提案があるか
- ・システムの早期稼働にあたり、QAデータ作成のための有効な提案がされているか(例：初期QAデータの提供、QAデータの自動生成など)

(4) セキュリティ対策【10点】

- ・不正アクセスを防止するための対策や、データセンター・サーバ等のセキュリティ対策が示されているか

(5) 追加提案【20点】

- ・仕様書に記載されている項目以外で、有益な機能や拡張性があるか

(6) 見積価格【20点】

- ・導入費用及び5年間の運用・保守費用(令和6年3月～令和11年2月)の参考見積を評価

4 最低基準点の設定

候補者選定における評価の最低基準点は、全体の1,800点満点中1,080点(6割)とする。

5. 優先交渉権者の選定

各評価項目の合計点数の最高得点者を優先交渉権者とする。

なお、選定委員会で選定した事業者が、採用の辞退その他の理由で契約できない場合は、次点者を交渉権者とする。